

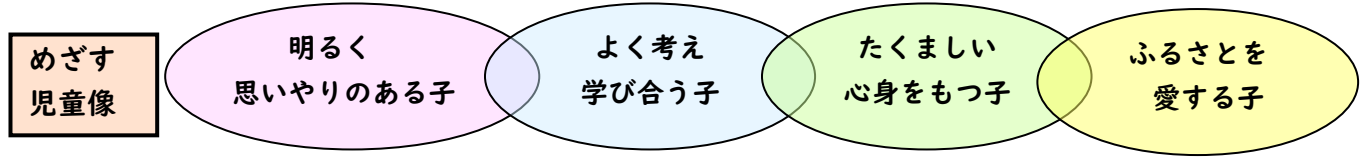
令和3年度 若狭町立明倫小学校スクールプラン

【児童の実態】
 ・明るく元気で、素直である。
 ・他学年の児童とも仲良く活動できる。
 ・やや受け身な面がある。

【保護者・地域・教職員の願い】
 ・自ら意欲的に学ぶ子に
 ・思いやりがある温かい子に
 ・最後まで頑張る子に
 ・ふるさとに誇りをもてる子に

【めざす学校像】
今日も元気！明日が楽しみな学校
 ・安全安心な学校 ・楽しい学校
 ・活気がある学校 ・開かれた学校

<学校教育目標> **明るく かしこく たくましく**



めざす
児童像

【業務改善の取組】
 ・計画的に年休を取得できるシステムの構築
 ・勤務時間の弾力化【3パターンから選択】

[重点目標]

豊かな心 (明るく 思いやりのある子)

- (1) 思いやり支え合う集団づくり
- (2) 道徳教育の推進
- (3) 人権教育の充実

確かな学力 (よく考え 学び合う子)

- (1) 様々なつながりを大切にした児童主体の授業づくり
- (2) 基礎基本の定着
- (3) 学習の基盤づくり

健やかな体 (たくましい心身をもつ子)

- (1) 運動に親しむ資質や体力の向上
- (2) 安全教育の充実
- (3) 望ましい生活習慣の確立

家庭・地域との連携 (ふるさとを愛する子)

- (1) ふるさと教育の推進
- (2) 家庭・地域との連携
- (3) 三方小・教育委員会との連携

[具体的な取組]

- ・縦割り班等での集団活動の充実を図り、仲間のよさを実感させるとともに、相手の気持ちを考えた言葉かけや行動ができる子を育てる。
- ・「いつでも」「どこでも」「だれにでも」元気なあいさつの習慣化に向けて主体的なあいさつ運動を推進する
- ・年間を通して人権教育の視点に基づく諸活動を実践する。

- ・つながって「聴き」「考え」「伝え合う」授業を実施し、自ら楽しんで学ぼうとする児童を育成する。
- ・ICT機器を活用し、児童の個性や主体性を大切に授業を実践する。
- ・朝活動や昼学習や授業をとおして、基礎基本となる知識や技能の定着を図る。
- ・家庭学習の時間の目安を示し、定期的を確認することで、家庭学習の習慣と充実を図る。
- ・読書について目標を定め、朝読書や家庭読書の推進を図る。

- ・体育の授業や体育的行事、朝マラソン、休み時間の外遊びをとおして、運動の習慣化と体力の向上を図る。
- ・安全に関する行事や授業をとおして交通安全や防災等に対する意識と技能の向上を図る。
- ・ノーゲームデー、ノーゲームタイムを設定し、望ましいメディアとのつきあい方を育む。
- ・教育相談を学期に1回以上実施し、健やかな心を育成する。

- ・地域の人や自然・文化などにつながる体験活動を実施し、地域への親しみを培う。
- ・学校公開日、学校行事、通信等をとおして開かれた学校づくりを図る。
- ・学校統合に向け、家庭や地域との連携を密にする。
- ・円滑な学校統合に向け、三方小や教育委員会との連携を密にする。

[数値目標]

- (1) 友だちと仲良くしたり助け合ったりできた (児童90%以上)
- (2) 元気なあいさつができた (児童・保護者・地域85%以上)
- (3) 学校が楽しい (児童100%)

- (1) 児童主体の授業 (教員100%)
- (2) 「授業が分かる」 (児童90%以上)
- (3) 読書の習慣がついた (児童・保護者80%以上)

- (1) 進んで運動や体を使う遊びをした (児童90%以上)
- (2) 早寝早起きの習慣 (児童80%以上)
- (3) ネットの約束 (保護者80%以上)

- (1) ふるさと教育の推進 (教員100%)
- (2) ふるさとのよいところ、自慢が言える (児童員80%以上)
- (3) 三方小学校との統合への不安解消 (児童90%以上)